

# 近代制度を育てた人々

● 令和3年12月9日(木) 開場13:30 開演14:00

● 能楽堂ホール **tenjin9** (テンジンナイン)  
(RSKイノベティブ・メディアセンター / 岡山市北区天神町)

● **入場料 1,000円** (資料代含む)



矢野恒太

上道郡角山村(現岡山市東区)で生まれた矢野恒太。第三高等中学校医学部(現岡山大学医学部)を卒業した後、ドイツに留学。保険制度を学び、農商務省に入って保険業法の制定に参画した。そして1902(明治35)年、日本初の相互保険会社・第一生命保険相互会社を創立。今日の国民総保険化時代への第一歩を開いた。一方で矢野は、国民病といわれた結核対策に尽力したほか、私費を投じて農業青年教育の場として三徳塾を岡山市竹原に開設した。

津高郡野谷村(現岡山市北区)に生まれた坂野鉄次郎。東京帝国大学卒業後逓信省に入省し、急激に拡大する郵便物を効率よくさばくため、大規模な科学的な調査分析を

実施。1906(明治39)年「年賀特別郵便規則」を定め、新しい組織や制度を導入して国家の情報基盤・郵便事業の改革・整備につとめた。「郵便中興の恩人」と称される所以である。坂野はその後、大原孫三郎に迎えられて電気事業に参画。乱立する電気・電灯会社をまとめ、中国合同電気を創設して社長に就任、現在の中国電力の礎を築いた。



坂野鉄次郎

募集人員 **80人**

新型コロナウイルスの感染状況によって人数は前後する可能性があります。  
応募者多数の場合は抽選とさせていただきます。

▶ 新型コロナウイルス感染防止対策を実施します。ご協力をお願いします。

▶ 37.5度以上の熱、風邪症状のある方は入館をお断りする場合があります(同居家族を含む)。

▶ マスクの義務化。各自ご持参ください。

▶ 詳しくは、参加可否通知書に記載します。

Fax申し込みはこの用紙のままお申し込みください。ハガキ、e-mailでも受け付けます。

参加希望の開催日又はタイトルを必ずご記入ください。

令和3年11月15日(月) 必着

お名前、企業名、団体名

〒

ご住所

ご連絡先(電話など)

◆申し込みは1枚(1回)につき1人とします。(複数応募不可)

fax **086-225-5525**

◆ e-mail [sanyohoso-zaidan@rsk.co.jp](mailto:sanyohoso-zaidan@rsk.co.jp)

◆ ハガキ宛先 〒700-0823 RSKホールディングス内  
(公財)山陽放送学術文化・スポーツ振興財団

◆ 問い合わせ 086-225-5225

「参加可否」は郵便でお知らせします。



公益財団法人  
矢野恒太記念会専務理事  
**前田和男**

演題：「世間の人々が喜ぶか、無くても良いと思うかを考えよ」 矢野恒太

中央大学卒業後、1985年第一生命保険に入社。  
第一生命では総合電機、自動車、鉄鋼、電力・ガス、鉄道など民間企業  
のほかに金融機関、官公庁、マスコミ、各種経済団体を担当する。  
北海道、札幌市、愛知県、名古屋市との間で地域連携協定の窓口と  
なり健康増進、ビジネスマッチング、地域活性化、女性活躍推進など  
の提携事業の推進に取り組んだ。2021年6月より現職。



桃の袋掛け (三徳園提供)

第一生命館  
((公財) 矢野恒太記念会提供)



郵政博物館元館長  
**井上卓朗**

演題：「郵便は薄利多売主義を守れ」 郵便中興の恩人 坂野鉄次郎

中央大学卒業後、1978年郵政省に入省。  
総務省郵政研究所、日本郵政公社郵政資料館で通信・交通に関する  
資料調査とその研究に携わる。その後、民営化された日本郵政株式  
会社を経て、2016年から5年間、郵政博物館館長を務めた。  
著書に『前島密=創業の精神と業績=』『郵便の歴史-飛脚から郵  
政民営化までの歩みを語る』『東海道~飛脚と郵便の道~』など。



郵便専用車両テユ4型  
(郵政博物館提供)

改革の基になった通信地図  
(郵政博物館提供)

次回は

シンポジウム 近代岡山の偉人伝 殖産に挑んだ人々⑩

# 岡山の街をデザインした男たち

令和4年2月17日(木) 能楽堂ホール「tenjin9」



長野宇平治

和洋折衷の奈良県庁を設計し高い評価を受け建築界にデビューした長野宇平治。  
1897(明治30)年日本銀行技師となり、辰野金吾の下で、大阪・京都・小樽などの各支  
店の他、ギリシャ建築様式を取り入れた岡山支店(現ルネスホール)や大倉精神文化研  
究所本館など重厚な古典主義の建築を全国で数多く設計した。

総社市出身の薬師寺主計は当初、陸軍省に入省し、重要な建物の設計を統括した。  
1926(大正15)年、大原孫三郎に請われて倉敷絹織(現クラレ)の取締役役に就任。経営  
に参画しながら第一合同銀行本店(現中国銀行)や同倉敷支店、大原美術館本館、倉紡  
中央病院(現倉敷中央病院)、有隣荘など多くの建築を手がけた。

長野は重厚・厳粛・調和を重んじながらも、建物外観や壁面装飾に日本的なデザイン

をデフォルメして刻み込んでいく和洋折衷のデザインを得意とした。また、薬師寺は西洋と同時期に、本格的なアール・デコ様式を中国銀行旧本店  
で表現し、工業化に向かうデザインを試みた。産業基盤を支えるこれらの建築は新しい時代に向かう人々を奮い立たせ、西洋に肩を並べようとする  
街づくりを先導した。

薬師寺主計



(上田恭嗣氏蔵)



中国銀行旧本店



日本銀行岡山支店 (現ルネスホール)

講演

東京大学名誉教授 藤森 照信

ノートルダム清心女子大学名誉教授 上田 恭嗣



近代岡山  
殖産に  
挑んだ人々 1

4月20日  
発売

定価 1,650円 (本体1,500円)

絶賛発売中!

「岡山蘭学の群像1・2・3」

1・2 1,540円 (本体1,400円)  
3 1,760円 (本体1,600円)

「慈愛と福祉  
岡山の先駆者たち 1・2」

1,760円 (本体1,600円)